

はねっと 2

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

頑張りすぎなくていい居場所を 後輩に残したい

いずも あ い ね
わかプレ発起人 出雲 愛依音 さん(18)

「中高生のためだけの居場所が欲しかった」と話すのは、高校3年生の出雲さんです。若林区中央市民センターで、中高生同士が遊んだり一人で勉強したり、思い思いに過ごせる場「わかプレ」を開いてきました。2025年7月から3回開催し、これまで学校・学年の異なる中高生、計41人が訪れました。この企画は、出雲さんが同センターに企画書を持ち込み、仲間4人と実現したものです。様々な価値観を持つようになる思春期。出雲さん自身も、複雑化する人間関係や学業へのプレッシャーなどで気持ちが疲れてしまうことがありました。「学校生活から少し離れた場で、誰かの行動に合わせることなくリフレッシュできる場が、心の支えになる」と活動に熱い思いを込めます。訪れた中高生からは「また開催してほしい」という声も多く寄せられました。

小学生の頃は、よくユニークなことを言って周囲を笑わせていた出雲さん。中学生になると、学校で周囲と自分を比べて不安になったり、嫌われることを恐れて発言を控えたりすることが多くなりました。そんな時、たまたま参加するようになった仙台市ジュニアリーダーの活動が、「自分の考えを素直に伝えられる居場所になった」といいます。活動に加わった当初、初対面の人たちと一緒に活動する時には難しさを感じましたが、先輩が会話の輪に入れるようフォローしてくれたおかげで楽しくなりました。高校生になってからは、先輩にしてもらったように後輩と関わり、リーダーシップを発揮。コミュニケーションにも自信がつかしました。「自分の世界が家と学校だけだったら、居場所づくりに挑戦する勇氣も、協力してくれる人がいることも、知らないままだったと思う」と振り返ります。だからこそ、部活や地域活動など役割を果たすためではない、同世代が集える場をつくりたいと考えました。「安心できる居場所を、未来に踏み出す原動力にしてほしい」。切り拓いた活動は、後輩に託されます。



▲わかプレでボードゲームを楽しむ参加者たち



▲活動が認められ、活動メンバーで表彰を受けた時の様子

わかプレ

高校生ボランティアが運営する、中高生が安心して楽しく過ごせる場です。



▲Instagram

仙台市ジュニアリーダー

市民センターを拠点に活動する、中学生・高校生のボランティア。子ども会の活動支援や、地域イベントの企画・運営などに取り組んでいます。



▲HP



活動を支える、人、モノ、こと「募集して」

「預かりボランティア」として、命のバトンをつなごう

「保護した猫を一時的に飼育するボランティアを募っています」と呼びかけるのは、茂庭台にゃんこ〜おうち見つけ隊〜の山口楓子さんです。山口さんは、2021年12月から太白区茂庭台で保護猫活動をしています。猫の繁殖力の高さや人間の飼育放棄などにより、飼い主のいない野良猫は後を絶ちません。山口さんは、猫の繁殖力を抑制するため、捕獲器などで野良猫を捕獲(Trap)して避妊・去勢手術(Neuter)を施した後、元の場所に戻す(Return)、TNRを実施。また、山口さんの自宅で保護している猫とボランティアに預けている保護猫合わせて約20匹の新しい家族を見つけるための譲渡会を月2回開催しています。

過酷な環境下で生活してきた野良猫の中には、病気や人へのトラウマを抱える猫もあり、里親探しが難航することも少なくありません。「猫が人慣れしていると里親が見つかりやすいので、一匹一匹に時間をかけてケアしていきたい」と話す山口さん。猫が安心して暮らせる居場所をつくるために、多くの人の力が必要です。



▲保護された子猫たち

茂庭台にゃんこ〜おうち見つけ隊〜

●預かりボランティアに必要な項目

- ・宮城県在住であること
 - ・預かっている猫を、月2回の譲渡会に連れてこれること
- 問合せ Mail nyarome6piki@gmail.com

●保護猫譲渡会

日時：毎月第2・4土曜日または日曜日 13:00～16:00
場所：有限会社 仙南エクスプレス
(宮城県仙台市宮城野区新田3-18-25)

詳細はHPへ▶



活動を始めの一歩を応援「コトハジメ」

森育みやぎ支援サポーターになって森林を守る活動を支えよう

緑を守り育てる宮城県連絡会議(以下、森育みやぎ)は、森林を守り、自然豊かな環境を次世代に引き継ぐことを目的に結成し、今年40周年を迎えます。主催する「森の案内人養成講座」では、植物観察のほか、自然素材を使ったリースやバスケット作りなどの体験や、山道の散策を通じて、森の魅力を多角的に伝えられる人を育てています。現在、森育みやぎでは、講座運営の補助や里山保全活動などを行う「森育みやぎ支援サポーター」を募集中。あなたも森林を守る一員になってみませんか。



▲昨年12月に開催した「森の恵みクラブ講座」ではリースを作りました

緑を守り育てる
宮城県連絡会議



▲HP

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 2月12日(木)、25日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2026年2月1日

デザイン PEACE Inc.

[X]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

